

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
建築一般構造 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	大澤 公仁			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
構造設計事務所にて海外での建設現場における構造設計を担当し、その後は不動産会社において住宅の設計・改修工事に従事した経験を持つ。伝統工法を用いた住宅設計を専門としている。											
授業概要											
一般的に難解とされる建築一般構造について、理解を深める事でスキルが上がる事に主眼を置く。建築構造の要点について解説するのはもちろんであるが、具体的な写真やイラスト用い解説する事で理解を深める。この授業に主体的に参加する学生が、幅広く建築構造に理解を深め、より良い建築デザインを導き出すことを目指す。											
到達目標											
各分野の建築構造・工法・仕上げに対する基礎的知識の把握や、設計演習等で活用できる様に実際に設計する為の知識の習得ができる。また、将来建築・インテリア系の資格取得の為の知識の把握ができる。											
授業方法											
オンデマンド授業。 確認テストを毎回行う。 質疑応答の時間を設け、一方向にならない授業とする。											
成績評価方法											
試験	50%	今までの学習内容から出題する									
小テスト	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
普段の生活の中でも様々な構造物に興味を持ち力の流れや、構造的な疑問点を考えること。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。普段の生活の中でも様々な構造物に興味を持ち力の流れや、構造的な疑問点を考えること。											
教科書教材											
初めての一般構造(学芸出版社)、必携 建築資料(実教出版)／レジュメ・資料を配布											
回数	授業計画										
第1回	鉄筋コンクリート造の原理・構成 他の構造と比べて短所・長所を理解										
第2回	配筋 付着・定着・継手など専門用語を理解										
第3回	地盤、基礎 基礎形式と地盤の種類を解説										
第4回	主体構造(柱・梁) 梁・柱の配置や構造計画を説明										
第5回	主体構造(床・壁・階段) 配筋を中心に解説										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
建築一般構造 1	
第6回	型枠 型枠の種類や工法を解説
第7回	プレキャストコンクリート 構造形式の理解
第8回	防水 工法の種類 of 把握、特徴を理解
第9回	鉄骨造の原理・構成 鉄骨造の架構形式を理解
第10回	柱脚、基礎 柱脚、基礎形式の解説
第11回	骨組み(柱・梁) 鉄骨造の骨組み形式を理解
第12回	鉄骨鉄筋コンクリート造等 SRC造の解説
第13回	各種仕上げ① 外部仕上げの解説
第14回	各種仕上げ② 内部仕上げの解説
第15回	まとめ、質疑応答 今まで行った講義の総括、質疑応答